

いわくに 地産地消だより

～いちご～

岩国学校給食センター
H28.1 発行 NO.8



「かおりの」「さがほのか」「さちのか」「とうくん(桃薫)」の4品種を栽培しています。

6月～8月に苗作りをし、9月の中旬～下旬に苗の植え付けを行います。

11月下旬～5月が収穫時期になります。1日に100～150パック分のいちごを収穫します。

～みつばちが大活躍！！～



約8000匹のみつばちが、ビニールハウスの中で働いています。

みつばちが受粉することにより、形のきれいないちごが収穫できます。

いちごには色々な品種があります。見た目、味、香り等、それぞれの特徴、長所があります。色々な種類のいちごを食べ比べてみるのも楽しみの1つです。

～環境に優しい取り組み～

ハウス栽培で使う加温装置として、環境への負荷が少ない「家庭用ペレットストーブ」を一部導入されています。柴田さんは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を減らしたいとの思いで、山口県で一番初めに取組みました。

1月28日の給食に、岩国産のいちごが登場します。
12月22日に、周東町にある柴田さんのビニールハウスを訪問しました。



気をつけている事は、温度管理です。25℃を保つようにしています。いちごは春の作物なので、暑すぎると病気になり、寒すぎると成長が止まります。

また、病気が出ないように苗作り、肥料と水のタイミング等に細心の注意を払っています。

大変な事は、収穫作業です。かがんで1つ1つ手作業で行うので重労働です。朝の10時には収穫を終えるようにしています。気温が上がると、いちごが柔らかくなり、傷みやすくなるからです。

採れたてのいちごは、香りが高く、とてもおいしいです。ぜひ、地元産のおいしいいちごを食べてください。



柴田さん